

HIGASHI COMPASS

- 合唱コンクール
- 外部講師講演
- 2CDEチロル学園合宿
- 夏休みの生活について
- 保健室より
- 図書室より
- 部活動試合結果/予定

1学期を終えて

校長 菊地 知恵子

この1学期は5月のコロナの5類移行、世のいろいろなことがコロナ前の「通常通り」に戻り、閉塞感が減る一方、活動の再開による忙しさを感じるようになりました。強い行動制限のおかげで風邪さえひかなかったのが、今年は若年層にいわゆる夏風邪が流行。もともとの「通常通り」になるまでには、免疫に類するものを獲得していく過程が、心身共に必要なのかもしれません。特に小中学生にとっては、成長期の3年間、ある面では守られ、心の成長における経験不足と鍛えられていない部分が多くあります。

さて、7月12日の合唱コンクールは、4年ぶりの外部会場、ルネこだいらで初の開催となりました。2019年までは三鷹市芸術文化センターで開催していましたが、より座席数の多い会場としてルネこだいらに2020年の予約をとるも、折からのコロナ禍により中止した経緯があります。全校生徒が学校外に出る行事も、本当に久しぶりです。

合唱はクラス活動としての取り組みですので、約2か月生徒は教室やアミティエホールを使いながら、自分たちで練習をする経験を積んできました。大ホールで観客を前に照明を浴びながら、という経験は貴重で、練習の成果は偽りなく本番の舞台にあらわれるものだという事を、生徒は知ることができます。6月の学級閉鎖により完成度が心配されましたが、どのクラスも仕上げることができました。1年生は入学して3か月、AB組は変声期の男声パートもしっかりとバランスのとれた合唱でした。球技大会で上級生に迫る勢いを見せた2年AB組は、パワーと技巧で次年度への可能性を示しました。CDE組の合唱は、

上級になるにつれて完成度が上がり、特別賞となった3年CDE組は取り組む姿勢とともに見事な合唱でした。そして3年AB組、会場全体に曲の世界が広がり、音量、ハーモニーともに極限まで完成を目指したことがわかる圧倒的な歌唱でした。中学校最後の年にクラスの全員が心を合わせて手にした勝利、最上級生としての姿は、下級生たちの心に残ったことでしょう。今年もまた、この行事をやりきった文化推進委員たちの活躍も立派でした。

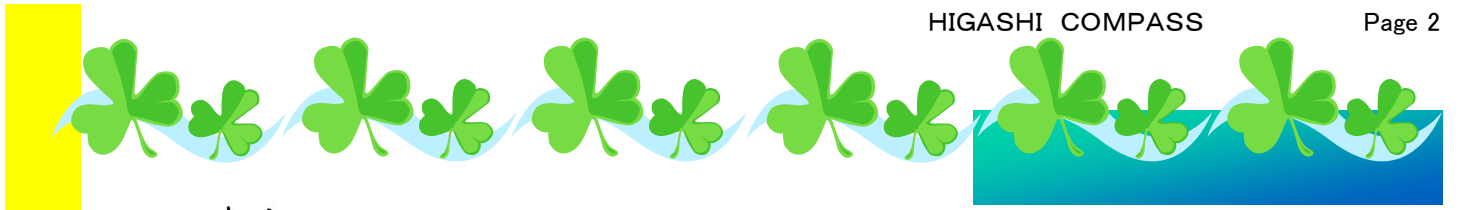
○ デジタル・デトックスと「対話」

明日からは夏休みになります。学校生活という決まった枠組みがない期間、ゆっくりするのも休みならでは。また普段できない有意義な活動をするのも良しです。いかに時間の意識を持ち自分を管理する力をつけるかが試される期間でもあります。デジタル・デトックスという言葉は聞きますが、今、特に留意しておくべきことです。過去3年間にはデジタルの世界による仮想経験に補われ、また満たされ、不足していたのは、実体験による試行錯誤や「対話」でした。心の成長のために必要な経験は何であるか、見直すべきことは何か、大人も振り返るべき時かと思えます。ご家庭でも実体験からの気づきや、それについての「対話」を大切にしてください。

また、休みには家族の一員として家事の分担は中学生なのだから必ずすべきということも、毎年言っていることです。親が負担している家事に「休み」がないことに、どれだけの子どもが気がついているでしょう。やってもらって当然では、いつまでも自立できません。

そして3年AB組には大事な1か月余りです。夏期講習を軸に自分で学習を管理し実行する力をしっかりつけてほしいと思えます。

最後になりましたが、この1学期も、保護者の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。どうぞ健康に気をつけ、元気でお過ごしください。



合唱コンクール

- 優勝 3年B組 (混三)
- 準優勝 3年A組 (混三)
- 特別賞 3年CDE組 (同三)
- 指揮者賞 笠原実桜 さん
- 伴奏者賞 永井日菜 さん

7月12日、第38回合唱コンクールが行われました。各クラスの文化推進委員が中心となり曲選びから練習まで計画的に進め、コンクールを成功に導きました。各学年、レベルの高い合唱の中でも3年生はそれぞれに表現を工夫して独自の合唱を作り上げていました。



優勝 3年B組



準優勝 3年A組



特別賞 3年CDE組

	”自由曲” 審査員評の概要
1A	「心の瞳」音程の難しい楽曲ながら、よく音が取れていた。フレーズごとに強弱をつけているのが素晴らしい。一生懸命さが伝わる歌い方だった。
1B	「地球星歌～笑顔のために～」とても美しい声で、バランスがよい。全員がしっかりと同じタイミングを感じられていた。気持ちの入った合唱だった。
1CDE	「大切なもの」声がよく出ている、歌詞もはっきりと聞き取れた。優しく歌うところ、力強く歌うところの表現がよくできていた。歌っているときの表情もよかった。
2A	「YELL」丁寧な発音で、歌詞も大事に歌っていた。音程の難しい曲だが、よく合わせていた。少人数で歌うところも、自信をもって堂々としていて素晴らしい。
2B	「君とみた海」迫力と優しさの両面が伝わってくる演奏。ユニゾン部分のボリューム感が良く、ハーモニーもキレイだった。クラス全体で歌っていると感じる。
2CDE	「COSMOS」強弱に気をつけつつのびのびと歌っていた。歌詞も一つひとつ丁寧に歌おうとしていた。ラストにかけての盛り上がりが良い。楽しんでいるのが伝わってきた。
3A	「聞こえる」とても難しい曲ながら、響きや厚みのある合唱で、まとまりがあった。全体のバランスもよく、キレのある部分・流れる部分の表現力が豊かな演奏だった。
3B	「信じる」抑揚とメリハリのある合唱。強く歌うところの迫力があり、表現豊かな演奏に仕上がっていた。歌詞をよく読み、作者の思いをよく考えて、大切に表現していたのが伝わってくる。
3CDE	「そのままの君で」歌詞がよく伝わる演奏で、心にぐっときた。声の響きが1つにまとまっていて、よくそろっていた。

「ニュースリテラシー」に関する講演

7月13日、読売新聞教育ネットワークアドバイザーの田中孝宏様を講師としてお招きし、「ニュース・リテラシー」に関する講演会を行いました。「ニュース・リテラシー」は今年の教育重点のひとつにしているもので、ニュースを中心に社会にあふれる様々な情報を正しく読み解くためのスキル（能力）をさします。身近なニュースを扱うので、自分に引き付けて考えやすいというメリットがあります。講演の始まりは、具体的なSNSの事例（「高尾山にゴジラがでた」「台湾でゴジララーメン販売」等）を見てどれが「正しい情報」で、どれが「フェイク」か考えることから始まりました。次に「ニュース」の定義を考えます。ニュースがどのようにして出来上がるのか、取材から得た情報の確かさなどを確認する作業があることなどが理解でき、「ニュース」と「情報」の違いが明確になりました。この確認方法や速度によって、「スローメディア」と「ファストメディア」があること、特に正確な情報が必要な場合は、検証作業に重きを置く「スローメディア」を利用すべきことが分かりました。架空の事件に関する架空の証言を読み、それをもとに自分でニュースを作る作業によって、理解が深められたと思います。講演会は終始対話をもとに進められたこともあり、生徒たちが主体的に考えたことを積極的に発言するよい機会となりました。



2CDEチロル学園合宿

7月5日～7日にかけて南アルプス市にあるチロル学園合宿に行ってきました。3日間天候に恵まれ、予定していた農業従事体験を行うことができています。初日はチロル学園周辺と曲輪田の田んぼの清掃活動及び雑草取りに励みました。曲輪田の田んぼは学園が所有者からお借りして米づくりを行っているところです。2日目は午前中に現地NPO所有の「桃園」で遮光袋を取ったりマルチシート張りの作業を担い、午後は野菜畑の雑草取り、マルチシートはがし、カボチャの種上を行いました。いずれも長時間にわたる作業でしたが、生徒たちは集中を保ち、「仕事」としての責任感を持ちながら従事できた様子でした。自分たちの仕事ぶりが評価され、また感謝されたことは非常に重要で貴重な経験となったことと思います。桃園の方のご厚意で、桃のもぎ取りも行い、自宅にお土産を持ち帰る経験もでき、大きな糧となった合宿でした。





— 夏休みの生活について —

今年の夏休みは、まだ感染状況を考慮し感染防止に留意して過ごすことは必要ですが、外出する機会も増えてくることと思います。外部との接点において、ご家庭では十分にご指導をお願いします。事故に注意することはもちろん、生徒同士の外出の際には、出かける前には出かける友だち、行先や帰宅時間の確認、金銭の管理についてはしっかりとご指導ください。

先日、**AB組**の生徒を対象に外部講師（小金井警察署）による防犯教室を行いました。最近の犯罪傾向から夏休み期間に特に注意を払う必要がある事例として**SNS**でのトラブルが挙げられました。**SNS**上で知り合った他人に画像や個人情報などを教えてしまい、脅迫やつきまといに発展することもあり、中学生が被害にあうケースも少なくありません。家庭においては、フィルタリングや、インターネットの利用時間を制限するなど、ルールをつくることが、トラブルの予防においてとても重要になります。

SNSに関しては、**AB組**だけでなく、**CDE組**の生徒も含め、スマートフォンなど携帯電話を生徒個人のものとして所持することは学校として好ましいと考えておりません。特にクラスや部活内での**LINE**グループ作成は、本校では禁止しています。必要があってやむを得ず携帯電話等を所持させているご家庭においては、使用に関するルールの確認を重ねてお願いいたします。ご家庭での**ICT**機器の利用については、教育方針説明会資料P.10で学校の考え方を示していますので、この機会に再度ご確認ください。

保健室より

急な暑さにより、朝の9時前から30度を超える日が続きました。本来ならば、徐々に暑さに慣れていく「暑熱順化」により汗をかきやすい身体になると外気温に対応できるようになります。汗をかきやすくなると発汗により体温調節がしやすくなり、皮膚の血管が拡張し身体の表面から熱が逃げやすくなり、また汗に含まれる塩分濃度が低下し体外への塩分流出が減る為、脱水になりにくくなり熱中症予防にもつながります。運動をする際にまだ暑さに慣れていない、体力に自信がないなどがあれば、涼しい時間帯にウォーキング、サイクリングなどをするのもよいでしょう。

水分補給は、運動前・途中・後に必ず行いましょう。喉が渇いてからでは遅いので意識的に行う必要があります。言うまでもありませんが、規則正しい生活・睡眠・食事は大前提です。夜更かし・朝食抜きは厳禁です。夏休みこそ、だらけることなく生活を整えてください。この生活リズムが2学期を迎えるのにも重要になります。

図書室より

改修工事により、夏休みの図書室の開室はありません。

夏休みは、自由に使える時間が増える期間ですが、同時に有効な時間の使い方を学ぶ機会でもあります。その一つとして、読書をする事は、自分自身を成長させる大きなきっかけを与えてくれるものです。

1、2年生は探究科の研究テーマに関する本、3年生は入試に出題された本から興味のあるものを探してみるといいと思います。小説や物語だけでなく、説明文やエッセイなどの、普段は読まない分野にもチャレンジしてみましょう。初めはちくまプリマー新書や岩波ジュニア新書などの、中高生向けに書かれた新書がおすすめです。先日配布した『中学生に読んでほしい30冊』も参考にしてください。

読書は繰り返すことで集中力や読解力の向上に繋がり、受験や試験勉強に限らず、いずれは大人になっていく子どもたちにとって必要な生きる力となります。中学生のこの時期に、様々な良い本との出会いがあることを期待しています。

7月の部活動試合結果

陸上競技部

- 第62回東京都中学校総合体育大会 兼第76回東京都陸上競技選手権大会 兼関東、全国大会選考会 (7/8、9 江戸川競技場)
- 2年平井さん 2年100m 13"33 8位入賞
- 3年三浦くん 共通走幅跳 5m44
- 3年伊藤さん 共通100mH 17"40
- 3年大久保さん 共通走幅跳 4m59
- 2年押木さん 共通走幅跳 3F
- 共通女子4×100m(大久保、平井、飯島、押木) 52"37

卓球部

- 第10ブロック夏季卓球大会 (7/8 小金井一中)
- 男子団体A グループリーグ1勝2敗→敗退
- 3年大石くん 3年長谷川くん 3年赤池くん
- 3年江渡くん 3年神谷くん 2年小辻くん
- 女子団体A グループリーグ1勝1敗→代表決定リーグ1回戦敗退
- 3年鈴木さん 3年羅田さん 3年新田さん
- 3年宮澤さん 2年中山さん 2年森田さん